

# だれでも、いつでも、 つながり、ささえあう千葉市に

2019年秋に千葉を襲った台風被害、そして、2020年から世界的規模で広がった新型コロナウイルス感染症の経験を通じ、私たちは、地方自治体の施策がいかに私たちの暮らし、医療、介護、福祉、仕事、住まい、子育て、教育に大きな影響を及ぼすかを痛感しました。政治が何もしなければ、厳しい状況に置かれている社会的弱者に、さらなるしわ寄せがいきます。特に高齢者、障がい者、子どもなど、孤独や孤立に陥らないための対策は急務です。

今後も、千葉市の危機管理対策として、大規模災害に備えるための施策、国境を超える感染症の発生や拡大を想定した施策を充実し、市民に支援の手が届く仕組みが必要です。これには、行政の分野を横断するような対応も求められますし、地域の防災力の向上にさらなる市の支援が欠かせません。

「どこへ相談したらよいかわからない」などの市民の声に寄り添いつつ、地域コミュニティの自治力を向上させるための支援をおこなうこと、そして、できるだけ気軽に、楽しみながら、活動に参加する市民を増やしていくことなど、市の役割はますます重要となります。

多くの市民のみなさんと議論しながらこの政策集をつくりました。私たちの想いを市に届けることができるよう、議員とともにこれからも活動を続けていきます。

市民ネットワークちば

1. まちづくり：いきいきと人の行きかう元気な街に
2. 福祉：誰もが大切にされ安心して暮らし続ける
3. こども・若者・教育：生まれてきてよかったと思える社会に
4. 環境・農業：子どもたちに豊かな自然を手渡したい
5. 市民力：集い・つながる場所を増やし、政策に市民の力を
6. 働く：いつでも希望に応じて働ける社会に